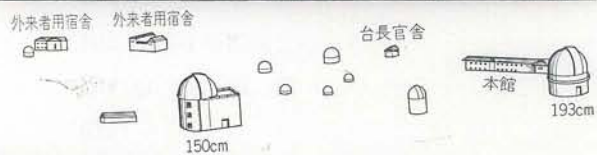
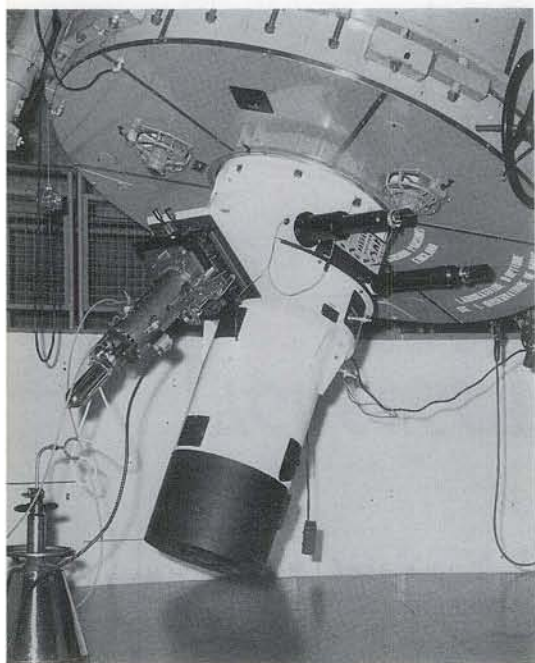


# オート・プロ

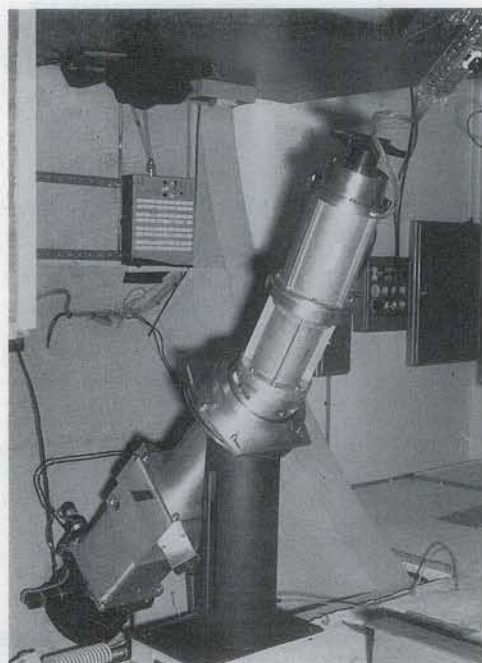
(Centre National de la  
Observatoire de Haute



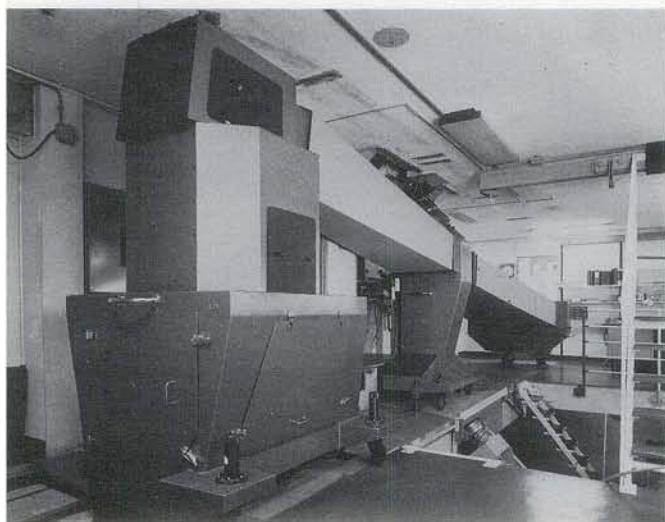
▲ 193 cm 望遠鏡, 岡山の 188 cm 鏡と同じグループ・パーソンズ社製. 筒を二重に張ってファンで空気を吸い筒内の乱流を防いでいる.



赤外用カセグレン分光器にラルマンカメラをとりつけてある.



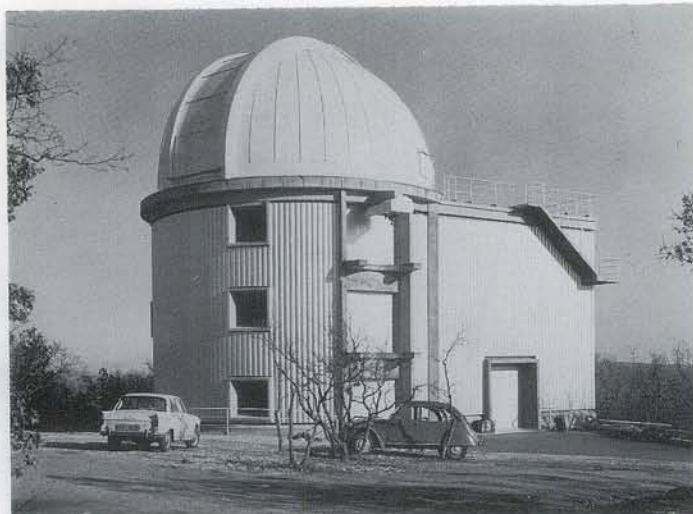
▲ 低分散用イメージチューブ分光器



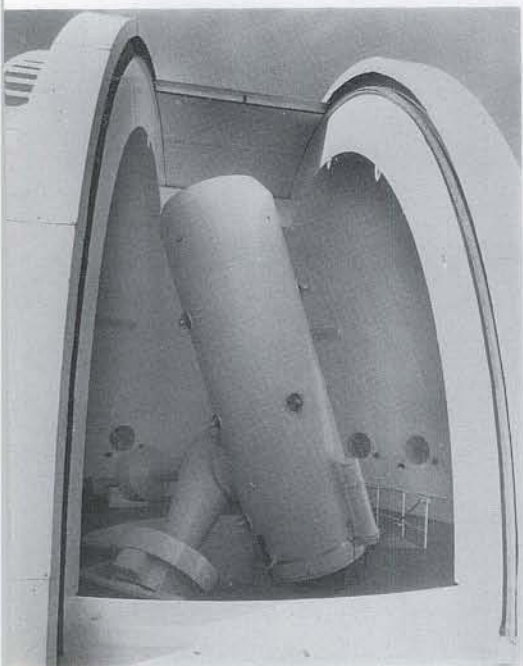
▲ バランス式  
グレーデ分光器

# バンス天文台

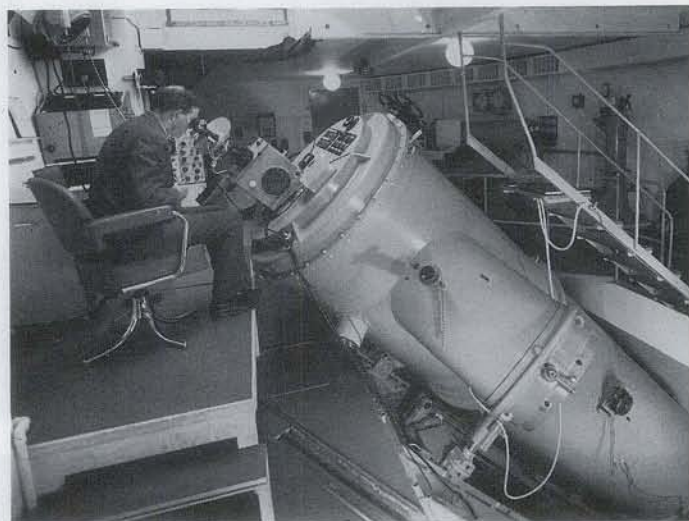
Recherche Scientifique)  
Provence 提供



▲ 150 cm 望遠鏡 (クーデ専用) のドーム



▲ 60 cm シュミット・カメラ



▲ 150 cm 望遠鏡のクーデ分光器。覗いているのは  
フェーレンバック台長



▲ 60 cm シュミット・カメラによる NGC 2024, 2023  
103a-F 乾板にて 30 分露出。

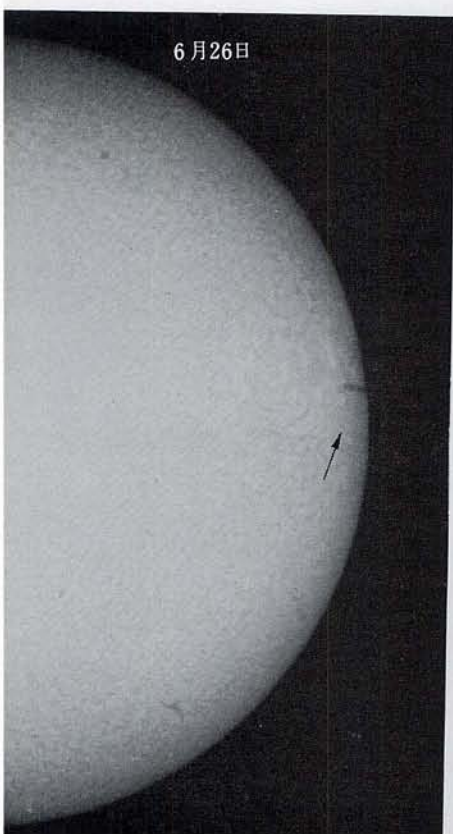
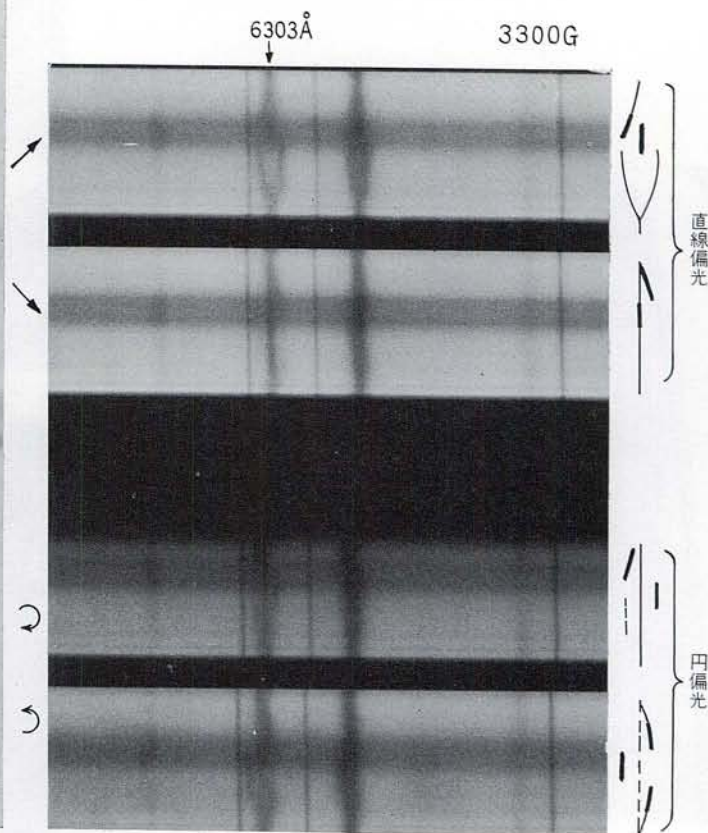
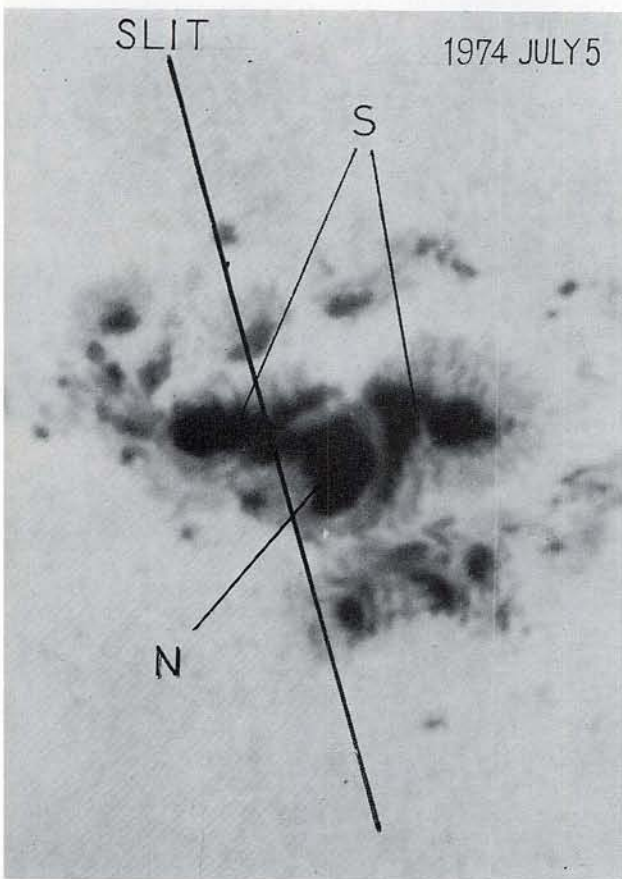
▶  
193 cm 望遠鏡の  
ニュートン焦点に  
よる NGC 6960 星  
雲, 網状星雲  
IIa-O 乾板にて 60  
分露出。





# 黒点磁場の最高強度

(本文 165 頁参照)



- 東京天文台では7月4日・5日の前後一週間は曇のため欠測であったので、比較のために、6月26日7時29分(左図)と7月8日12時44分(右図)に、モノクロマティックヘリオグラフ(半値幅  $0.75 \text{ \AA}$  の  $H_{\alpha}$  線)で観測した太陽面の写真を示す。コダック SO' 392 フィルム, D  $19 \cdot 24^{\circ}\text{C} \cdot 4$  分現像. 露出  $1/100$  秒.
- 左図は黒点がリム(縁)にある状態で、将来の活動を予報するようなフレアが見られる。右図では NS がきれいに対になった活発な黒点が見られる。表紙及び上図の黒点は太陽の中心部にある時のものである。